

この作物づくりを通して、地域のお年寄りと触れ合う、とても良い機会となっています。

秋には、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えるため、収穫祭を開きます。収穫祭では、祖父母や作物づくりを教えてくれた地元の老人クラブの方などを招いて、自分たちが育てたサト芋や大根で豚汁を作って振る舞いしました。また、みんなで歌詞を考えたオペレッタ『中切り森の猿物語』を披露しました。



老人クラブの協力で作物づくり

曾木小学校は、全校児童が54人と、小さな学校です。豊かな自然と温かな地域の方に見守られ、子どもたちは伸び伸びと生活しています。ここでは、地域に根差した学校の取り組みの一端を紹介します。

子どもたちに地域を愛する心が育っています。

学校の裏には山があり、前には小川が流れています。



豊かな自然、貴重な文化財、曾木に暮らす人々、子どもたちにとって、すべてが学習の対象です。

地域は貴重な学習の場

土岐市の無形文化財に指定されている「打ち囃子」を、4年生以上の子が、保存会の方から指導を受けて取り組んでいます。こうして、地域の方とかわりながら、古くから伝わる貴重な文化を守っています。

打ち囃子保存会の指導で伝統を守る



しょうぼう 119

- 住宅火災から大切な生命を守るために、
- 住宅用火災警報器を設置してください ●

消防本部 ・ ☎ 530123

誘導灯について(外出先で火災に遭遇した場合)

最近、遊技場や飲食店において、多くの死傷者がでる火災が発生しています。

火災による死亡の原因で最も多いのは「逃げ遅れ」によるものです。迫り来る炎、視界を遮る煙…もし外出先で火災に遭遇したら、あなたはすぐに避難できますか？

皆さんも外出先で『緑色の灯火』の誘導灯を見たことがあると思います。誘導灯は、火災発生時に屋外への避難を誘導する設備として、劇場や飲食店、ホテルおよびマーケットのほか、福祉施設や地下街などの建物に設置が義務付けられているものです。

誘導灯には、室内から地上に通じる出入口や階段に設置される『避難口誘導灯』と、廊下や通路、曲がり

角に設置される『通路誘導灯』があります。通路誘導灯の矢印をたどることで避難口誘導灯を見つけ、避難口にたどり着くことができます。

また、誘導灯は、火災により停電しても、一定の時間は点灯しています。

火災による煙や炎からの人的被害をなくすために、また、もしもの時に落ち着いて行動するためにも、外出したときには誘導灯を確認して、皆さん一人一人が安全確保を図ってください。



避難口誘導灯



通路誘導灯